

会議録

会議名 (審議会等名)	相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134 (直通)		
開催日時	令和3年5月19日(水) 14時00分～16時10分		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	8人(菅谷南区長、阿部副区長、市川区政策課長、宮澤地域振興課長、荒巻副主幹、区政策課：屋宜総括副主幹、玉置主事、松土主事)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	<p>1 開会</p> <p>2 会議の公開について</p> <p>3 議題</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 区別基本計画推進事業について</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 地域活動実施改善の検討について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>		

審議経過

主な内容は、次のとおり。（◎は会長、○は委員、●は事務局の発言）

1 開会

開会に先立ち、新たに委員に就任した黒子委員から挨拶があった。

2 会議の公開について

傍聴希望者なし

3 議題

(1) 区別基本計画推進事業について

資料に基づき事務局から説明。

- ◎ 無作為抽出型区民討議会の討議内容やテーマは、本会議で決めるのか。（井坂会長）
- テーマ案を示し、区民会議で検討いただきたい。（屋宜総括副主幹）
- 無作為抽出型区民討議会では、ファシリテーターを誰が担うのか。（長瀬委員）
- 南区若者参加プロジェクト実行委員会委員にお願いしたい。（屋宜総括副主幹）
- 無作為抽出型区民討議会が、2年に1回開催している理由はあるか。（金森委員）
- 区民会議委員の任期（検討テーマ）に合わせている。（屋宜総括副主幹）

(2) 地域活動実施改善の検討について

資料に基づき事務局からの説明

- ◎ 各地域の取組又は個人的な意見を順番に発言してください。（井坂会長）
- 自治会への加入率は高く、運営は順調である。（中島（千）委員）
- ◎ 自治会費の徴収は誰が行うのか。（井坂会長）
- 担当区域ごとに班長が行う。（中島（千）委員）
- 資料3の1⑦番にある「楽しみながら活動を」ということは、とても大事である。モデル事業は、この視点を持って検討すると良い。（井部委員）
- 悩みを抱えている子育て世代を中心とした独自団体が、各地に分散してしまっているため、組織化を行うことと、その組織を行政や地域へ、どのように組み込むかの検討が必要。
(草薙委員)
- 遊び場の減少、自治会加入率の低下により、地域を見守る目が減っていることに課題がある中、新規イベントを企画する等対策している。（佐田委員）

- ◎ 対策等の具体的な内容をうかがいたい。（井坂会長）
- 自治会未加入者とは話す機会が少ないが、イベントの案内等で交流している。（佐田委員）
- 自治会の会報が一新し、そのことが読むきっかけになった。（大谷委員）
- 利便性の高い子育て広場があれば、子育て世代の交流が活発化し、地域活性につながる。
（廣岡委員）
- 市民・大学交流センターのまちづくりモデル事業には、3つのポイントがある。
 - ① モデル事業の申請を受ける時点では、しっかりとしたヒアリングを実施し、敷居を高く設定する。
 - ② 採用した団体への支援（使用料、広報、相談受付など）は徹底的に手厚くする。
 - ③ 報告やデータ提出で事務を増やさないよう管理を緩めに設定する。
 最終的な狙いは、他の団体や大学と連携しながら、収支等、自立した事業となること。
（金森委員）
- ◎ 前回会議で話していた仕様書の改革の進捗をうかがいたい。（井坂会長）
- 地域づくり大学の仕様書を変更する必要があるため、今年度9月からの開講に向け、積極的に改革している。（金森委員）
- 主催者側が楽しむことが参加者増加につながる。活動の内容を具体的に示すことで、きっかけにつながる。（長瀬委員）
- 南区の学生が、将来南区で起業したいと考えてもらえるような仕掛けが大事である。
（杉本委員）
- 交通安全活動の担い手が高齢化しているため、若者参加を促進したい。（鈴木委員）
- ◎ 高齢者中心というのは、自治会も同じく抱えている問題と考える。（井坂会長）
- イベントの開催日を他のイベントと重ならないように工夫した。（瀬尾委員）
- 夏祭りでは、自治会の他、子ども会も運営参加し、子どもがお店を出す取組みを行っている。
（篠塚委員）
- 地域が青パト車を所有することで、パトロールの回数を増やすことができた。青パト活動への認知度が上がり、PTAからも参加したいとの申し出があった。（中島（勝）委員）
- ◎ PTAには自治会から依頼したのか。（井坂会長）
- 依頼はしておらず、活動に感謝しているPTAから申し出があった。（中島（勝）委員）
- 自治会の中にある広場に禁止事項（ルール）が多く子どもの利用促進の課題と考えている。
（黒子委員）
- ◎ 担い手の年齢層についてうかがいたい。（井坂会長）

○ 年齢層は高く、女性の割合が低い。（黒子委員）

○ 地域活動の定義が曖昧であり、テーマに疑問を持っている。

自治会には環境美化の他、ごみ置場の維持・管理の問題、災害時の対応が期待されていると感じる。（大木委員）

○ 地域の取組として、子育て相談を受け付ける団体と子ども食堂を新たに立ち上げたところ、好評だと聞いている（森副会長）

◎ 課題の共有が一通りできた。

今後は成功事例等の共有ができればと考える。

また、各担当の組織とか自治会で具体的な検討をしていただくと、次のモデル事業へのステップになると考える。（井坂会長）

4 その他

- ・ 金森委員から「UNICOM PAPER」学生特集号について紹介があった。
- ・ 事務局から無作為抽出型区民討議会の運営委員の募集について説明があった。
- ・ 事務局から、次回区民会議を7月中旬に開催する旨の報告があった。

5 閉会

森副会長の挨拶のあと、閉会。

第6期 相模原市南区区民会議委員名簿

(50音順・敬称略 令和3年5月10日現在)

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	秋場 智子	公募委員		欠席
2	井坂 聡	相模女子大学人間社会学部教授	会長	出席
3	井部 弥生	相模原市民文化財団		出席
4	大谷 かな穂	公募委員		出席
5	大木 恵	大野南地区まちづくり会議会長		出席
6	角田 隆洋	麻溝畜産会会長		欠席
7	金森 巖	相模原・町田大学地域コンソーシアム業務部部長補佐 市民・大学交流センター所長		出席
8	草薙 喜義	相模原市社会福祉法人経営者協議会会長		出席
9	九嶋 俊彦	相模原青年会議所常任理事		欠席
10	黒子 信雄	東林地区まちづくり会議会長		出席
11	小寺 美卯	南区若者参加プロジェクト実行委員会		欠席
12	佐田 昌史	相模原市民生委員児童委員協議会常任理事		出席
13	篠塚 実希子	相模台地区まちづくり会議会長		出席
14	杉本 祥一	相模原商工会議所常議員		出席
15	鈴木 貴市	相模原南交通安全協会会長		出席
16	瀬尾 守一	相武台地区まちづくり会議会長		出席
17	田中 美加	北里大学看護学部教授		欠席
18	中島 千尋	相模原市地区社会福祉協議会南区連絡会		出席
19	中島 勝平	麻溝地区まちづくり会議会長		出席
20	長瀬 徹	ジェイコム湘南・神奈川相模原・大和局局長		出席
21	廣岡 恵子	子育て親育ち応援団 With. cfc 会計監査		出席
22	穂苅 健二	新磯地区まちづくり会議会長		欠席
23	三井 布美子	公募委員		欠席
24	森 逸雄	大野中地区まちづくり会議会長	副会長	出席
25	吉田 貴子	女子美術大学芸術学部教授		欠席